

気象災害発生が予測される時は…

台風や暴風雪、湿った重い雪(着雪)などの荒天時は、停電や交通障害などの可能性が高まります。停電発生による影響は、搾乳(ミルクカー)、給水(給水ポンプ)、バークリーナー、換気扇、配合タンク(オーガ)の停止など多岐にわたります。交通障害では、運送や集乳などに影響がでます。最新の気象情報に留意し、悪天候の予報が出た際には、以下を参考に早めの備えをしましょう。

停電発生の前に…

- ✓ 自家発電機がない農場では、自家発電機の手配について段取りをつける
- ✓ 自家発電機がある農場では、燃料や動作の確認を行う
- ✓ 自家発電機で稼働させる機器類の優先順位を決める(搾乳は最優先)
- ✓ 搾乳を早めに開始する(可能なかぎり停電が発生する前に搾乳)
- ✓ 牛床に消毒資材を散布し、漏乳などによる乳房炎予防対策を行う
- ✓ 携帯電話の充電を確認する

交通障害が発生する前に…

- ✓ TMRセンター利用農場においては、TMRの事前配送を手配する

最新の気象情報を入手する

【参考】 インターネットで各種情報を入手できます。

道路	北海道開発局 北海道地区道路情報(通行止め)
天気	気象庁(天気図など)
電気	ほくでん(停電情報)

備えあれば
憂いなし



© 2016 Japan Dairy Council

(追記) 平常時から、災害に備えた準備を心がけましょう。

- ✓ 自家発電機の準備・操作確認
※自家発電機の手順マニュアルを準備している農場もあります。
- ✓ 健康な乳牛を飼養
※衛生的な牛床・牛体で、体細胞数が少ない健康な牛を飼養している農場では、停電などによる搾乳中止の影響が少ない傾向があります。